

第二章 裝備上ノ注意  
第一 個人裝備

| 馬<br>飲<br>用 | 人                 |                          |                   | 區<br>分<br>數<br>量 |
|-------------|-------------------|--------------------------|-------------------|------------------|
|             | 計                 | 炊事用<br>(飯盒炊事)            | 食<br>用<br>三回、一回一立 |                  |
| 八回、一回三、五立   | 三・〇<br>一・四<br>〇・〇 | 三・〇<br>三・〇<br>四・六<br>〇・〇 | 三・〇               |                  |
| 六・〇         |                   |                          |                   |                  |

臺灣軍ノ實驗

四

2061

一 暑装被服ハ季節ニ依リ異ナルモ夏季ニ在リテハ防暑被服ヲ暑装シ外ニ防雨外套、防蚊覆面、同手袋、厚底足袋、腹巻及眼簾ヲ携行スルヲ可トス

夏季以外ノ季節ト雖夏服ヲ着用シ概ネ下落ノ調節ニ依リ凌クコトヲ得

二 一般ニ被服使用上ノ注意ヲ述フレハ左ノ如シ

1 防暑帽ハ鐵帽ト併用スルヲ可トス

鐵帽ハ防暑帽ト併用セサル場合ハ可成日覆又ハ草樹葉ヲ以テ上部ヲ覆ヒ又行軍中帽内ニ青葉、樹草ヲ入ルトキハ防暑的效果アリ

2 晝間共ノ他暑熱ヲ感スル場合防暑襦袢袴下ヲ着用ノトキハ通常防暑衣ヲ脱スルヲ例トス

3 軍靴ハ發汗、徒渉ノ爲メ損耗比較的大ナリ保存ニ留意ノコト

4 襦袢袴下ハ二組共ニ防暑襦袢袴下ナル時ハ別トシ一組ナル時ハ日中ハ普通

五

2062

ノ夏褌袴下ヲ用ヒ防暑褌袴下ハ背囊ニ收容シ夜間著換フルヲ可トス

5 背囊又ハ「リュクサツク」入組品ハ發汗ノ爲メ内部ヨリ濕潤ヲ來シ易キヲ以

テ背ニ面シテ褌袴類ヲ收容スル如クスルヲ可トス

三 個人裝備ハ規定ノ外左ノ如ク携行スルヲ可トス

1 携帶口糧ハ正規品種ノ外砂糖二〇瓦ヲ増加ス

2 暑熱季ニ在リテハ辨當携行用トシテ飯骨柳各自一

3 湯呑、タオル、襟布 各一

4 簡易ナル携帶濾水器 一個

5 其他防蚊材料 若干

四 携帶糞尿ハ發汗其ノ他ノ爲數日ノ行軍ニ依リ蒸熱シテ臭氣ヲ帶ヒ變味スルコ  
トアルヲ以テ之カ保持ニ留意シ又時々更新スルヲ可トス

特ニ雨季ニ在リテハ變敗甚シキヲ以テ精米ハ防水袋ニ入ルルカ又ハ防水布紙等ヲ以テ被覆スルヲ可トス

五 携帶馬糞ハ成ルヘク壓搾馬糞トシ食鹽四〇瓦ヲ増加スルヲ可トス

六 馬ノ爲メ準備スルヲ可トスルモノ左ノ如シ

1、防暑用馬帽子

竹材及箔皮等ヲ以テ製作セル笠ニ成シ得レハ被覆ヲ加ヘ耳ノ部ニ穴ヲ穿テ紐ヲ附シテ顎下ニ結フ

2 海草鞍褥(疊表類ニテモ可ナリ)

3 輓具及腹帶ノ擦傷ノ豫防處置

## 第二 部隊裝備

一 初期上陸スル部隊ハ成シ得レハ定員ニ對シ三分ノ一程度ノ水筒ヲ行李又ハ各自ニ増加携行スルヲ得ハ便ナリ

二 九五式八錐形天幕ハ防雨其他ニ於テ最適ナルモ其數不足ナルヲ以テ方錐形天幕ト併セ主トシテ司令部、本部竝病院用ニ充當シ其他ハ携帶天幕ヲ使用スルモノトス

三 給養器材ハ左ノ如ク行李ニ携行スルヲ可トス

1 給養單位ノ部隊裝備

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (1) 沸 水 車    | 本部及中隊ニ各一箇 |
| (2) 九七式布濾水器  | 右 同       |
| (3) 各種搬水及貯水器 | 若 干       |
| (4) 草 刈 鎌    |           |

(5) 水 桶

其ノ他屠殺器具、挽肉器、濾水綿桶填品等ノ携行ヲ便トス

2 戦略單位部隊ノ裝備

(1) 炊 事 車

(2) 搬水及貯水器

(3) 九七式打込作井機

(4) パン 焼 車

(5) 採薪器及屠獸器

其ノ他部隊ノ駐留スルニ至レハ滑涼飲料製造機、冷蔵庫、簡易食品製造機等  
ヲ必要トス

四 右ノ外左記資材ノ携行ヲ要ス

- 1 防蠅用ノ藥液及其ノ使用器材
- 2 防蚊用燐煙粉
- 3 淨水錠
- 4 クロールカルキ

### 第三章 行軍及宿營上ノ注意

- 一 大休止ニ當リテハ衣及襦袢ヲ脱シ日光ニ乾燥スルヲ可トス此際淡水ヲ注キ或ハ水洗スルコトヲ得ハ更ニ可ナリ  
又靴ヲ脱シ靴下ヲ履替フルヲ可トス
- 二 小休止ニ當リテモ時間ノ許ス範圍ニ於テ努メテ右ニ準シ取扱フヲ可トス
- 三 水筒及沸水車ノ水ハ機會ヲ得ル毎ニ之ヲ充實スルコトニ心懸クルヲ緊要トス